



# 東京オリンピックを契機とした一般廃棄物の統一分別ラベル導入検討事業

平成28年度要求額  
21百万円（30百万円）

## 事業目的・概要等

### 背景・目的

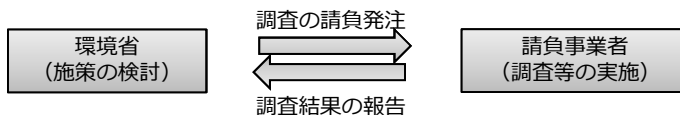
- 2020年の東京オリンピックでは、「街づくり・持続可能性」を柱の一つにして、大会で発生する廃棄物を効果的、効率的かつ持続可能性に配慮した方法で処理し、将来に向けた取組につなげることをしている。
- その実現に向け、国、東京都、市区町村の行政機関とオリンピック組織委員会がこれまで以上に連携を深め、効果の高い施策をモデル的に実施していくこととしている。
- 東京オリンピックは、国内のみならず、海外からも多くの観光客が東京都市圏を訪れることから、大量の廃棄物の排出が予想され、現状の複雑なごみの分別ルールのために、ごみの分別が正確に行われない可能性が高い。
- そこで、廃棄物を排出する者にとってわかりやすい仕組みについて、東京都が目標としている3年後（2018年）の導入を目指し、実効性の高い分別のあり方の検討を行う必要がある。

➡ H27年度から3か年に渡り、国際的なイベント開催地におけるごみ分別の課題や対策を踏まえ、海外からの観光客に対してもわかりやすい分別手法（例えば分別ラベルの導入）を検討する。

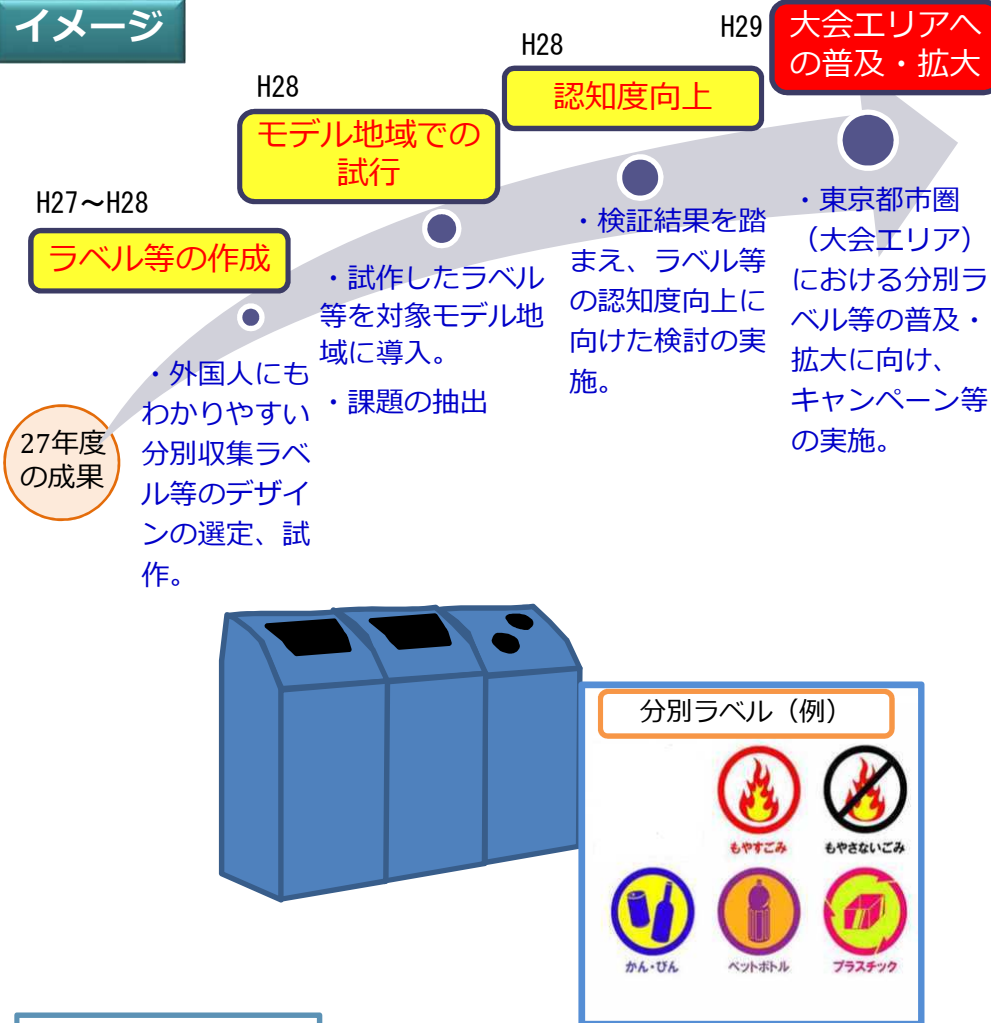
### 事業概要

- (1) 統一分別ラベル等の作成及び対象モデル地域への導入・検証（12百万円）
- (2) ラベル等を普及・定着させるための手法の検討（5百万円）
- (3) ラベル等の普及・定着及び認知度向上のための活動（3百万円）

### 事業スキーム



## イメージ



### 期待される効果

- 海外に向けて、日本の優れた3R政策をアピールできる。
- 国内における3Rのさらなる促進が図られる。徹底した3Rの啓発活動等への利用も可能。